

リフォーム前後の写真



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／特筆すべき住宅性能向上の内容など

車椅子生活になった母親の介護で一番大変なトイレの介助を軽減する空間を要望された。

“失禁”は誰にでも必ず起きる変調現象である。しかしその際の処理対応は一般家庭ではほとんど準備されていない。

- ①寝室からトイレへは1ドアが望ましい。
- ②中腰で体を保持してもらう為の補助手摺の設置。(清拭の為)
- ③便座の左右に体を保持する補助手摺の設置。(安定の為)
- ④汚物洗い専用のシンク・洗濯機の設置。(他との兼用はさける)
- ⑤汚れた部分を洗うシャワールームの設置。

性能向上の特性
・既存サッシの内側にインナーサッシを取付(防寒)
・床面を床暖房に施工

⑥床暖房の設置。(ヒートショック防止の為)

⑦車椅子専用の洗面台の設置。

既存の和室をできるだけ残しながら機能化を計画した。

<施主の感想>

本人(母親)が快適に(トイレも含め)生活していることがなにより。介護も、設置したものはどれ一つ欠けても大変不便な事になると思う……。
大変満足されているようです。

特に配慮した住宅性能
お母様専用のトイレ・シャワー室・水廻り設備の新設。
既存窓障子を、組子を残し樹脂コーティング和紙に貼り替えた

データ

所在地	新潟県新潟市	築後年数	30年	施工期間	20 日間
該当工事面積	35.21 m ² /総工事床面積	72.17 m ²	該当部分工事費	520 万円/総工事費	780 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満:	人/65歳以上:	2 人/15歳未満:	人/ベッド:	
設計会社	(有)あすの住まい計画	担当者	飯田 公久		
施工会社	さくらメディカル(株)	担当者	小泉 正昭		

リフォーム前

リフォーム後

